



議会だより

かたしな

発行 片品村議会

No. 135

2013. 2. 28



冬季交歓会でスキーを楽しむ銚子市・明神小学校の児童たち（1月24日、戸倉スキー場）

主な内容

平成24年度一般会計補正及び特別会計補正予算、条例改正……	2～3
一般質問で村政を問う、12月議会委員会審査……	4～7
村民の声、議会日誌、議会活動……	8～10

平成24年12月各会計別予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算
一般会計補正予算(第4号)	▲1億5017万円	39億2355万円
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	570万円	8億9364万円
介護保健特別会計補正予算(第2号)	5662万円	4億7140万円

平成24年第6回定例会(12月議会)を12月6日〜13日までの8日間にわたり開催しました。
 「一般会計補正予算」「特別会計補正予算」「条例の一部改正」「過疎地域自立促進計画の変更」「人権擁護委員の推薦」「専決処分の承認」などの11議案が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計補正予算(第4号)

- 主な歳入
- ・地方交付税 4341万円
 - ・国庫支出金 261万円(障害者自立支援給付費負担金)
 - ・県支出金 131万円(障害者自立支援給付費負担金)
 - ▲2億円(ぐんまスポーツプラン補助金)
- 主な歳出
- ・庁舎空調設備工事費等 380万円
 - ・障害者扶助費 382万円
 - ・介護保険特別会計繰越金 759万円
 - ・後期高齢者医療事業負担金 343万円
 - ・除雪費補助金 67万円
 - ・奨学金基金 500万円
 - ・全中スキー大会開催事業
 - ・機械器具費 784万円
 - ・競技本部他設計委託料減額 ▲1500万円
 - ・クロカンコース等工事請負額減額 ▲1億8000万円
- *平成24年度着工とならず、平成25年度予算に工事費を計上の予定

ワンポイント解説 除雪費補助金とは
 道幅が狭く除雪車が入らない村道に対して、除雪費の一部費用を補助する。
 議会及び区長会からも、地域の要望として提案され、予算化されました。

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

- 歳入
- ・国民健康保険基金より繰入 570万円
- 歳出
- ・後期高齢者支援金 236万円
 - ・介護納付金 334万円

介護保険特別会計補正予算(第2号)

- 主な歳入
- ・介護給付費増額見込み分として 1405万円
 - ・国庫支出金より 1662万円
 - ・支払基金交付金より 944万円
 - ・県支出金より 944万円
 - ・一般会計より 759万円
 - ・介護給付費準備基金より 960万円
- 主な歳出
- ・保険給付費 5730万円

専決処分の承認

一般会計補正予算(第3号)
 12月に行われた衆議院議員選挙の委託金が国庫支出金として658万円歳入に追加され、選挙費として同額が歳出に追加されました。
 補正後の一般会計予算は、歳入・歳出とも40億7373万円となります。

ワンポイント解説 専決処分とは
 村長が、特に緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなく、やむを得ない場合、議会の議決なしで処分できる制度。

条例の一部改正・変更

◎片品村職員の給与に関する条例の一部改正

勤務時間一時間あたりの給与額の見直しに伴う一部改正
【全員賛成】

◎片品村税条例の一部改正

地方税法の一部が改正されたことに伴い条例の一部を改正。
主な改正内容は、「寡婦(寡夫)控除額」を削る。平成26年以後の年度の個人の村民税について適用する。
【全員賛成】

◎片品村共同墓地設置並びに使用条例の一部改正

片品村共同墓地設置及び管理を「保健福祉課長」から「農林建設課長」に「所管課長」を改める。
【全員賛成】

◎片品村防災会議条例の一部改正

委員に自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者を加え、委員の定数の計を14人から15人に改める。
【全員賛成】

◎片品村災害対策本部条例の一部改正

災害対策基本法の一部が改正されたことに伴う一部改正
【全員賛成】

◎片品村過疎地域自立促進計画の変更について

既存の計画にスキー関連施設整備・村道・学校教育関連施設・地域防災事業を新たに盛り込み片品村過疎地域自立促進計画の変更について議会の議決をお願いする。
【全員賛成】

人事

【議員同意】

人権擁護委員に

大竹 長久氏



地域防災マップづくり
(写真提供:片品村社協)



国体等スキー関連施設整備予定箇所

陳情審議結果一覧表

12月定例会において審議された請願陳情は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
平成24年 11月15日	障害者や高齢者等の災害弱者マップの作成、障害者や高齢者世帯にレスキューポットの無償配布及び透析患者に災害時の通院用ガソリン優先給油等の実現について	利根沼田腎臓病友の会 会長 永沢 正次	総務文教常任委員会	趣旨採択

一般質問で村政を問う！



星野 精一議員

Q 木材の寄付を募り、かつ村有林を使用すべきだが、**A** あらゆる可能性を排除せず、良い施設を実現したい

問 学校建造においての理念及びコンセプトを聞きたい。

答 教育長

生きる力を育むため楽しく学び明るく鍛えあい、豊かな心を育む片品教育を具現化できる施設・設備。

コンセプトですが、豊かな自然と風情に恵まれ、温かく思いやりのある村を未来へと継承しなければなりません。その役目は児童達に託さなければなりません。そのため教



長い歴史を育んだ片品小学校

育施設整備だと考えています。

問 どのような体制で取り組んでいるか。

答 教育長

計画案の策定は、建設設計の専門家に依頼することとし、業務委託契約を締結しています。有識者から意見を聞くための会の設置を予定しています。

問 専従の職員はいるか。

答 教育長

専従の職員はいません

が、限られた職員で行政効率が上がるように努めていきたい。

問 落札した事業者は今まで学校建設の実績がどのくらいあるか。

答 教育長

沼田市内の学校建設の実績がある。

問 木造校舎が見直され着工数も増えている。見解を聞きたい。

答 教育長

文部科学省では、温かみと潤いのある教育環境のなかで、児童生徒を育成するため、木の教育環境の整備を推奨しており、村の教育行政方針にも叶うものと考えています。

問 村民参加型の学校建築にして、木材の寄付を募りかつ村有林の使用をすべきだと考えるが、どう認識しているか。



クロスカントリー競技の練習に励む片品小学校児童

答 教育長
特定の概念を持たず、あらゆる可能性を排除しないで計画し、実現をさせたい。

問 これからの公共建築は、脱既存エネルギーあるいはエコロジーの意識が重要だと考えるが、認識を聞きたい。

答 教育長

文科省では、学校建築にあたって、エネルギー対策をとるよう求めている。この指針に沿ったプランを立てることが必要だと考えています。

問 校舎は子供らにとつて大きな第二の家であると位置づけ、一年生から六年生までが兄弟になれる空間設計が必要だと考えるが、見解を聞きたい。

答 教育長

文科省で定めた学校施設整備指針の中では、子供達の主体的な活動を支援する施設とすることもうたわれています。これに片品の地域特性も加え、より良い施設となるように努めたい。

Q どのような体制で取り組むのか？
A 有権者の意見を聞く会を設置し、対応する

第7回臨時会

●片品村学校統合有識者会議条例の制定

村に片品村学校統合有識者会議を設置する。有識者会議は、教育委員会の求めに応じて村立学校の統合にかかわる諸問題について研究協議し、提言を行うことを任務とする。委員は、教育委員会の意見をもとに村長が委嘱する。

委員の任期は3年とする。

有識者会議は、研究討議すべき諸問題の種類に応じて次の部会を設ける。

- ① 新片品小学校建築部会
- ② 片品中学校改修部会
- ③ 小中一貫教育にかかわる教育課程部会
- ④ スクールバス部会
- ⑤ その他教育委員会が必要と認める部会

【全員賛成】

●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

片品村学校統合有識者会議委員 日額
8,000円を加える。

【全員賛成】

●工事請負契約の締結

- (1) 契約の目的 平成24年道路災害復旧事業
- (2) 工事場所 村道越本・花咲線
(土出字新井地内の土砂崩れ)
- (3) 契約の方法 指名競争入札による契約
- (4) 契約金額 1億3545万円
- (5) 契約の相手方 角田建設工業株式会社
- (6) 工期 平成25年3月29日

【全員賛成】

●一般会計補正予算（第5号）

歳入として、地方交付税400万円、県支出金（千客万来支援事業補助金）400万円、合計800万円

歳出として観光施設管理委託事業・建物構築物工事、設計委託料と請負費（花の駅片品の農産物直売所等に屋根をかける）に800万円

【全員賛成】



「花の駅片品」の農産物直売所



岩鞍の災害現場

審査しました

各委員会を開催

総務文教常任委員会

協議事項

一、陳情

①障害者や高齢者等の災害弱者マップの作成について

答 村では社会福祉協議会とも連携し、要支援者に対しての支援体制はできています。区長、組長、福祉関係者、広域消防、警察にも支援者マップを配布し、情報共有して災害時に役立てる準備をしている。

②障害者や高齢世帯にレスキューポット無料配布について

答 平成24年度中に、要援護者福祉サービス事業として準備中です。

③災害時に透析患者への優先給油、輸送体制確保について

答 災害の状況を見ながら適確に対応する。

二、全中について
その現状は

教育長 アルペン競技、クロスカントリ―競技を実施する方向で準備中。主要競技役員等の選任を決定した。競技役員に先生方をお願いしたい。

問 リハーサル大会開催については、どの程度を考えているか

教育長 全中のリハーサル大会は考えていません。場できそうな片中生はどれくらいか

教育長 アルペン競技は競争率が高いのはつきりつかめない。クロカン競技は、多くの部員を抱える片中はかなりの選手の出場が期待できると思う。

三、小学校統合について
問 統合に向けての現状はどうか

教育長 設計事務所です3つの計画案を提示し、12月の校長会にて50項目の検討箇所があった。修正して教育委員会の定例会議に諮りたいと思います。

問 新校舎に太陽光発電は、考えているか

教育長 最近新築のみなかみ中学はベランダに設置してあり、屋根への設置は難しいので、それが検討ベースになると思う。
問 片品村過疎地域自立計画で15億円とあるが、それ位必要か

教育長 事例として新治小学校、みなかみ中学校ともに約15億円位の予算でしたので、概算の予算で15億円としました。

村長 小学校の建設が15億円という数字が出ていますが、国から55%の補助を受けられます。

残り45%は、過疎債を借りた場合は、30%が村の持ち出し分となり、約2億円の持ち出しで済みます。

問 建物は木造という方向で進めているか

教育長 現時点では決定されていません。有識者会議の建設部会等で検討を重ねていきます。

問 校名は片品小学校のままか、校歌はどうするのか

教育長 新たな指導要綱を立ち上げるには時間を

要するので、片品小学校を中心に考えていく事が良いと思う。

四、その他

提案

●片品村の産業振興と観光産業推進のため、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を通して片品の尾瀬ブランド商品の全国通販展開が図られるよう進めて貰いたい。

●自治体が通販サイトを立ち上げることは、安心感も加味されるので、大変有効である。

●村長 林野庁の関東森林管理局の管理職員5名が来所して、公共施設を建てる場合には、是非国産材を使用してほしいとの要請があったので、統合小学校の建替えにおいても検討して行く必要があると思う。



片品小学校校庭で、冬を楽しむ子供たち

委員が慎重に

12月議会の12月11日に

観光産業常任委員会

協議事項

一、所管事務について

問 調査費を計上した小水力発電の調査結果はどのようなか

答 群馬小水力発電推進協議会から2月末頃に調査報告がでる予定です。

問 やるならやるという決断をして予算付けができれば、平成25年度予算に是非とも盛り込んでもらいたい

答 調査結果がでてないので、なんともできません。

問 原発事故後再生可能エネルギーに対する取り組みは、国民的な同意がある中で村の立地条件から小水力発電は適している。密な打ち合わせをしていけば、最終結果はなくとも、方向性を見いだせるのではないかと

答 調査結果により費用対効果またはPRを考え進めていきます。

問 今シーズンの有害鳥獣の被害はどうか

答 熊による被害が例年より多かったが、猿に関しては巡視員がこまめに歩いているので被害は少

なかった。村で購入した電気柵を設置した所に被害はなかった。

問 「かたしなや」でWiFi（ワイファイ）が対応できるようにしてほしい

答 「花の駅片品」や「寄居山温泉ほつこりの湯」も含めて三箇所に対応済みです。

問 片品のイメージに合うご当地ゆるキャラを考えてみては

答 トマト・トウモロコシ・水芭蕉など発想はいいが、メリット・デメリットがあるので検討していきます。

問 村として間伐材を利用した六次産業や水源地を守る森林保全を目的にした産業に取り組み考えがあるか

答 独自ではないが森林組合へ作業道の整備や間伐促進等を補助事業で行っています。

問 昨今の宿屋の稼働率は365日のうちの50日程度です。本村は目的型の観光地なのでその目的を増やすために行政主体で維持費の掛からない施設など補助金等を利用して客を呼べるような民間

の手助けはできないか

答 現在の取り組みは、

①中高年リピーターを増やす、②食の開発や魅力アップをする、③農業体験や修学旅行の呼び込みをする、などです。大規模なものは、予算が掛かり、時代に合っていないか議論が必要です。

二、その他

問 国道120号線（金精峠）の年間開通、社会実験について日光市議会との交流会以降の進展は

答 本来国道が年間開通できないこと自体が異常であるが、反対者もいるので今後もあらゆる努力をしていきます。

ワンポイント解説

電気柵の貸出しとは

事業名は東日本大震災農業生産対策補助金で、村は3戸以上の農家に8年間、4〜5段の電気柵を貸与するもの。平成24年度の実績は、7地区16kmで、農家が施工・管理を行っている。

WiFi（ワイファイ）対応とは

無線により高速大容量インターネットにアクセスできる技術で、接続できる場所をWiFiスポットといい、村内では、三箇所を設置済み。お店にWiFiスポットを設置すると、ノートパソコン等が快適に使え、観光・災害情報などの収集やお客様からの情報発信ができる。

問 宿泊して二日間滑る場合に、七つのスキー場で使える共通券の販売はできないか

答 スキー場連絡協議会に働きかけをします。

合意

●尾瀬ブランドや特産物の販路拡大が非常に大事で、SNSに关しフェイスブックであるとか、ホームページを使って販路拡大を考えています。

●防災協定を結んでいる上尾市や蔵市に「野菜便」で野菜や果物を、市を通じて市民の方に、提供できるような協議も行っている。

●銚子市の道の駅などに片品村の特産品を置いてもらうよう検討をしています。

議会傍聴で 思うこと



私は今回、12月の定例議会を傍聴させていただきました。議会傍聴は二度目です。

一般質問では、少子化の進行に伴い、村内四つの小学校が統合されることが決まり、その新校舎建設に関する内容のものでした。制限時間ぎりぎりまで使った内容の濃い質問でした。

新校舎建設は、まだ計画段階で、これから決定していくことが多いようなので、子供たちのことを第一に考えた新校舎となるよう期待しています。

「議会だより」でも議会の内容や活動の様子がわかりやすく載っていますが、実際傍聴してこそ気づくことがあります。

皆さんもぜひ傍聴してみたいはいかがでしょうか。

芝崎 敦子さん

議会傍聴で 思うこと



私は婦人会活動を通して、何度か議会傍聴をさせて頂いております。回数を重ねることで分かるのは、傍聴者が増えていることであり、村政に対する関心の高まりを感じております。

今回の議題は「小学校統合に伴う片品小学校建設について」でして、議員さん一人が質問されました。子供を持つ若い方々が熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。将来の片品をになう子供たちに、安心かつ安全な教育環境が整備されるように期待しております。

また「一問一答方式」に変更されている一般質問を傍聴しましたが、初めて見る光景でして緊張感を感じました。

議会は、村の行政、議員の皆様の活動を直接知ることのできる貴重な場であり、機会がありましたら、また傍聴したいと思います。今後も「議会だより」を楽しみにしております。

笠原 はつ子さん

片品村婦人会がFM-OZEハートウォーミング大賞を

1月25日に行われたFM OZE 主催のハートウォーミング大賞式において、片品村婦人会が地域活動部門賞を受賞しました。

受賞理由は、「花の植栽、清掃、尾瀬奉仕作業等、地域に根ざした幅広い活動により観光客を心地よく迎え、村の活性化に貢献」とのことで、今後のさらなるご活躍を期待いたします。



議会活動日誌

11月

- 11日 道路愛護
- 22日 議会運営委員会
- ” 議会全員協議会
- ” 群馬県知事との懇談会
- 27日 議会広報研修会

12月

- 6日 片品村降雪・安全祈願祭
- ” 12月議会定例会開会
- ” 補正予算説明会
- 7日 片品村社会福祉協議会理事会・評議員会
- 11日 総務文教・観光産業常任委員会

- 12日 オグナ武尊・武尊牧場スキー場安全祈願祭
- ” ホワイトワールド尾瀬岩鞍安全祈願祭
- 13日 12月議会定例会閉会
- 19日 スノーパーク尾瀬戸倉安全祈願祭
- 26日 議会運営委員会
- ” 議会臨時会

1月

- 7日 消防団出初め式
- ” 新年賀詞交歓会
- 10日 観光産業常任委員会現状視察(栃木県日光市)
- 13日 片品村成人式
- 23日 冬季交歓会受入れ式

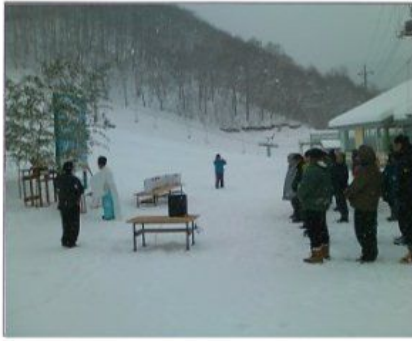
椎坂バイパスが11月に開通予定

1月28日、大沢県知事による国道120号線椎坂バイパスの視察が行われました。

その結果、当初より、約一年前倒しにして、今年11月末には開通する見込みとなりました。



(H. 25. 2. 20撮影)



武尊牧場スキー場祈願祭
(12月12日)



村の降雪・安全祈願祭
(12月6日)



議会広報研修会 (11月27日)



新年賀詞交歓会 (1月7日)



消防団出初め式 (1月7日)



県の冬季国体説明会
(12月17日)



明神小との冬季交歓会の
スキー実習(1月24日)



明神小との冬季交歓会の
受入れ式(1月23日)



片品村成人式 (1月13日)

3月議会を傍聴しよう！ 次回定例会は、3月7(木)日～15日(金)です。一般質問は、開会日です。
なお、一般質問の質疑応答の全文は、片品村公式ホームページにて閲覧することができます。
URL : <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

編集後記

寒中お見舞い申し上げます。議会だよりの編集委員会が新たに結成されて、この六月で丸二年になります。紙面を見ていただいた村民からおおむね好評との声を聴きますが、編集側からすれば、さらなる努力が必要との認識で歩んでいるところです。

今回の紙面を見てお分かりかと思いますが、一般質問者が一名でした。編集するにあたって、目玉記事として取り扱って来ていたところですが、なるべく多くの議員が一般質問をしてもらえるといいかなと思っております。村民の声欄には、二人の傍聴者に登場して貰いました。議会は村政のために終わりのない努力を重ねていくところでありますが、それをしっかりとかつ分かりやすく村民に伝達していただける編集委員会でありたいと思っておりますので、温かく見守っていただきますよう、今後とも、宜しくお願い致します。

議会広報編集特別委員会
委員長 戸丸 廣安

発行 片品村議会

責任者

高橋

正治

編集

議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)